

**東京高速道路（KK線）の廃止（東銀座出口を除く）について（2025年4月5日（土）20時）**

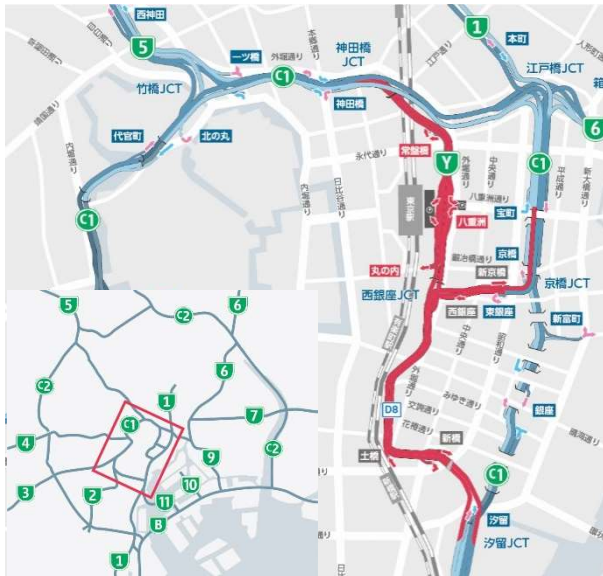
東京高速道路株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：加藤 浩）は、東京都の「東京高速道路（KK線）再生の事業化に向けた方針」に基づき、東京高速道路（KK線）（以下「KK線」）の再生事業を推進するため、2025年4月5日（土）20時にKK線を廃止（東銀座出口を除く）いたします。

KK線は、1966年の全線供用開始以来、都市高速道路網の一環としての役割を果たしてきましたが、首都高速道路の日本橋区間地下化事業に伴い、新たな都心環状ルート「新京橋連結路（地下）」の整備が決定し、その役割が大きく低下することから、東銀座出口を除き廃止することが決定しました。

また、KK線が接続している首都高速八重洲線においても、日本橋区間地下化事業に伴いKK線の廃止と合わせて長期通行止め（2035年度まで）となります。

廃止・通行止めの最新情報については、日本橋区間地下化事業特設サイトで随時お知らせいたします。事前に交通状況をご確認の上、最新の交通状況に応じたご利用をお願いいたします。

なお、廃止後のKK線は、東京都の方針に基づき、「自動車専用の道路」から既存施設を活用した「歩行者中心の公共的空間」に生まれ変わります。約60年の長きにわたり、自動車専用の道路として多くの皆さまにご利用いただき誠にありがとうございました。

**廃止・長期通行止め位置図**


【2025.4.5（土）20時で廃止となる区間】

**D8** 東京高速道路（KK線）（北行き・南行き）

- ・新橋出入口、土橋入口、西銀座入口、新京橋出口
- ・京橋 JCT 付近～汐留 JCT 付近

※東銀座出口は除く

【2025.4.5（土）20時～2035年度通行止め区間】

**Y** 高速八重洲線（北行き・南行き）

- ・神田橋 JCT～西銀座 JCT
- ・八重洲出入口、丸の内出口

※東銀座出口、汐留出入口は、KK線廃止・長期通行止め開始後もご利用頂けます。



**Y** 高速八重洲線長期通行止めに関する最新情報については、下記の HP よりご確認ください。

長期通行止めに関する特設ページ URL <https://www.shutoko.jp/ss/nihonbashi-tikaka/yaesurouteclosed/>

お問い合わせ先

東京高速道路株式会社 道路施設部

TEL03-3562-0890

## ■東京高速道路株式会社 取締役社長 加藤 浩のコメント

東京高速道路（KK 線）は、2025 年 4 月 5 日（土）20 時を以て自動車専用の道路としての役割を終えることとなりました。長きにわたり KK 線をご利用頂いた皆様、近隣はじめご支援頂いた皆様には、心より感謝申し上げます。

このたび東京高速道路（KK 線）を、歩行者中心の公共的空間として再生することとなりましたが、道路下の商業施設等はこれまで通り営業しておりますので、引き続きご愛顧のほどお願い申し上げます。

東京高速道路（KK 線）の廃止に際し、ご利用いただいた皆様への感謝と、道路としての役目を終える KK 線に対する労いの気持ちを込めて、4 月 18 日（金）にクロージングセレモニーを開催し、60 年余にわたる自動車専用の道路の歴史の幕を閉じるとともに、歩行者中心の公共的空間への再生に向けたスタートにしたいと考えております。

新しい姿に生まれ変わる KK 線にご期待頂ければ幸いです。

## ■東京高速道路株式会社について

東京高速道路株式会社は、戦後、日本が経済成長を遂げていくためには道路網の整備が不可欠であると考えた財界人 23 名が発起人となり、銀座の復興と飽和点に達した自動車交通量の緩和を目的に、1951（昭和 26）年に設立された民間企業です。当社による道路建設は、「道路下を賃貸スペースとし、その賃貸収益を道路の建設費と維持管理費に充て、無料で一般に供用する」という、今日の PFI（Private Finance Initiative）の先駆けともいえる、当時としては画期的な事業スキームによって実現したものです。日本初の民間活力による無料の自動車専用の道路「東京高速道路（KK 線）」は、銀座周辺の外堀、汐留川、京橋川の一部を埋め立て、完成までに 13 年の歳月をかけて、1966（昭和 41）年に全線の供用を開始しました。以後、約 60 年にわたり、都市高速道路網の一環としての公共的な役割を担う全長 2km 余の無料の自動車専用の道路と、道路と一体構造をなす 14 棟の賃貸スペースを管理運営し、現在に至っています。

## ■東京高速道路（KK 線）の歩み

- 1952 年 一般自動車道事業免許取得
- 1953 年 山下橋～新幸橋間（山下ビル）着工
- 1959 年 土橋～城辺橋間を一方通行で供用開始  
都市高速道路第 8 号線として都市計画決定  
（首都高速道路公団設立）
- 1963 年 蓬莱橋～紺屋橋間を相互通行で供用開始
- 1964 年 蓬莱橋にて首都高速道路羽田方面と連絡供用開始
- 1966 年 新京橋で首都高速道路と接続  
蓬莱橋～新京橋間全線を相互通行で供用開始
- 1973 年 首都高速八重洲線と接続、首都高速道路との乗継所設置
- 2011 年 特定緊急輸送道路に指定
- 2017 年 国土交通省より道路路線番号「D8」付与
- 2023 年 都市高速道路第 8 号線の廃止決定



着工前の外堀  
山下ビルから新橋方面  
（1952/昭和 27 年）



躯体工事中の北数寄屋ビル  
（1957/昭和 32 年）



一方通行供用後の城辺橋出口  
（1960/昭和 35 年）



現在の東京高速道路（KK 線）  
土橋カーブと東海道新幹線



現在の東京高速道路（KK 線）  
北数寄屋ビルと外堀通り

## ■東京高速道路（KK 線）の再生に至った経緯

首都高速道路の日本橋区間地下化事業に伴い、新京橋連結路（地下）を整備することが決定し、自動車専用の道路としての KK 線の役割が大きく低下することから、KK 線既存施設の有効活用策が検討され、KK 線は自動車専用の道路から歩行者中心の公共的空間に転換することが決まりました。

東京高速道路（KK 線）廃止に至るまでの検討経緯は以下の通りです。

- 2018 年 国土交通省「首都高都心環状線の交通機能確保に関する検討会」設置  
別線（新京橋連結路）の整備および東京高速道路（KK 線）の有効活用策を別途、検討することを決定。
- 2019 年 東京都「東京高速道路（KK 線）の既存施設のあり方検討会」設置  
KK 線の既存ストックを活用しつつ、上部空間を歩行者中心の公共的空間に再生することを東京都に提言。
- 2021 年 東京都「東京高速道路（KK 線）再生方針」策定  
KK 線再生に向けて高架施設の位置付けや事業スキームの考え方、今後の進め方が取りまとめられた。
- 2022 年 東京都「東京高速道路（KK 線）再生の事業化に向けた方針（中間まとめ）」策定  
整備内容や整備主体、維持管理の考え方とともに当社が KK 線再生の整備・管理運営主体に位置づけられる。
- 2023 年 1 月 有楽町・銀座・新橋周辺地区 地区計画（再開発等促進区）の都市計画決定  
3 月 東京都「東京高速道路（KK 線）再生の事業化に向けた方針」策定  
KK 線再生の実現に向け、関係者の取組の基本的な考え方が示された。  
12 月 都市高速道路第 8 号線（KK 線）廃止、東銀座出口を都市高速道路第 1 号線に編入する都市計画決定  
東京高速道路（KK 線）の上部空間を「主要な公共施設（広場）」とする都市計画決定

## ■東京高速道路（KK 線）の再生

東京の新たな価値や魅力を創出するため、歩行者中心の公共的空間へ再生し、世界から注目される観光拠点を目指します。東京高速道路（KK 線）廃止後、調査、整備に着手し、全区間の整備完了の目標時期を 2030 年代から 2040 年代としています。都市空間の価値や魅力向上の実現に向け、段階的な整備により一部区間の早期開放を目指します。

## ■KK 線廃止セレモニーおよびウォーキングイベントの開催、KK 線にまつわるエピソード募集

4 月 18 日（金）午前「KK 線リボンセレモニー」（招待のみ）、引き続き 18 日（金）夕方～19 日（土）に「Roof Park Fes & Walk」（一般参加）を開催いたします。

KK 線リボンセレモニーでは、60 年余の歴史を振り返るとともに歩行者中心の公共的空間への再生に向けた始まりを告げる「車から人への交代式」を行います。セレモニーでは、KK 線再生を目指すプロジェクト名称の発表も予定しております。

また、KK 線廃止にあたり「KK 線にまつわるエピソード」を一般の方から募集し、応募された方の中から 50 名をセレモニーにご招待する予定です（詳細は web ページ参照）。

【東京高速道路株式会社 WEB ページ】

<https://www.tokyo-kousoku.jp/>



【KK 線再生プロジェクト紹介 WEB ページ】

<https://www.kk-saisei.com/>



新数寄屋橋の様子  
(GINZA SKY WALK 2024 より)



土橋カーブの様子  
(GINZA SKY WALK 2024 より)

東京高速道路（KK 線）再生事業に関するお問い合わせ先：

東京高速道路株式会社 プロジェクト推進室 e-mail : [kksen@tokyo-kousoku.co.jp](mailto:kksen@tokyo-kousoku.co.jp)